「キャッチボールクラシック2018 第3回富山硬式大会」H30.8.25（土）

日時：平成３０年８月２５日（土）10時～11時20分
場所：アルペンスタジアム

＜会場設営＞8時45分から8時55分

今年の会場は「アルペンスタジアム」
白線の代わりに養生テープでの
ラインです。

＜スタッフ打ち合わせ＞　9時より。アルペンスタジアム内会議室［薬師］

富山県少年硬式野球協会
那智理事長（右）あいさつ

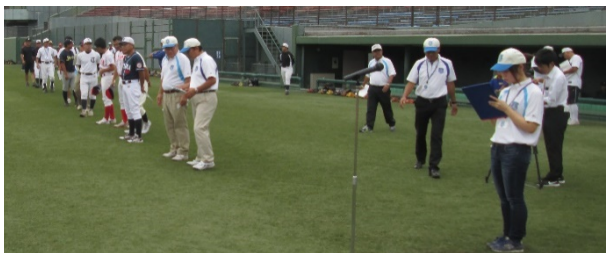
プロ野球選手会　加藤事業部長（左）
共同通信社　　小俣氏（中）

【公認記録認定員】
プロ野球選手会　加藤事業部長
より、ルール説明

富山県少年硬式野球協会事務局より、
競技の進行について説明。
木下事務局長（右）
清水副事務局長（左）

各チームの代表者。
昨年までは、優勝と準優勝の２チームが全国大会出場権獲得。
（第２回大会は、２位が２チームだったため、３チーム出場）
今年の全国大会会場が石川県（小松市）。「近隣開催のため出場枠を増やして
いただけないか。」とお願いし、加藤事業部長より、３位までＯＫの回答を得ました。
粘り強く、「もう一枠」の交渉の結果、「上位４チームＯＫ」とこの場で決定。

＜開会式＞9時30分より



協会役員。各チーム監督は一塁側で整列。

三塁側に来賓整列。
左：加藤氏(プロ野球選手会)
右：小俣氏(共同通信社)
※東京から前日入での参加です。

報道関係者も取材

主催者代表あいさつは、森田副会長。
「今日は24時間テレビ。今年のテーマは「人生を変えてくれた人。
今日、君たちにとって、野球人生を変える一日に・・・・。」

加藤氏より激励の言葉を
いただきました。

司会は、協会
役員の紅一点
「谷」です。

【選手宣誓】
参加２２チームを代表して、ＫＵＲＯＢＥドリームズＢ
倉本幸樹君による力強い宣誓。

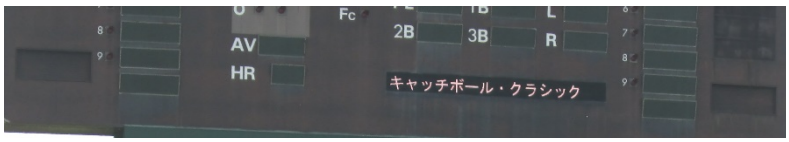
＜競技＞10時~11時10分

競技開始前にルールの確認。

一回戦。本番（2分間）前に練習時間あり

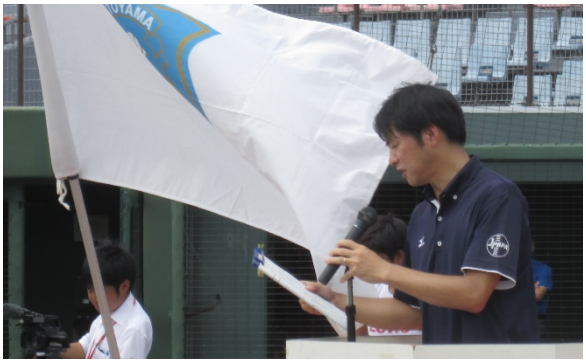
審判員は、各チーム監督・コーチ。加藤氏の合図で開始・終了。

「優勝するぞ！」
「おう！」



＜閉会式・表彰＞

報道関係者も準備ＯＫ。
選手・役員整列を呼びかける
司会者　谷さん



加藤氏より成績発表。

優勝：１１８回。富山ﾍﾞｰｽﾎﾞｰﾙｸﾗﾌﾞjr A
２位：１１５回。氷見市硬式野球部Ｂ
同じく２位：おやべｽﾎﾟｰﾂｸﾗﾌﾞ
４位：１１２回。富山北硬式野球ｸﾗﾌﾞ

優勝した「富山ベースボールクラブｊｒ Ａチーム。
賞品は、プロ野球選手のサインボールです。

選手の人数分あり。誰がどの選手のサインを貰うのか
もめないように・・・

優勝した「富山ベースボールクラブｊｒ Ａ」。回数は１１８回。
昨年の先輩は、同じ回数で２位（優勝チームは１２２回）でしたが、今年は雪辱しました。
１回戦：１１６回。準決勝：１１５回と安定した実力を発揮しました。
全国大会での活躍を期待しています。

第２位「氷見市硬式野球部　Ｂ」。回数は１１５回。同じく全国大会出場。
準決勝では１１９回と、今大会一番の成績でしたが、決勝では惜しくも。
猛暑日の影響なのか、終盤疲れがでちゃいました。

同じく第２位「おやべスポーツクラブ　Ａ」。回数は１１５回。全国大会出場。
準決勝は９８回と、５位。敗者復活を含めた決勝進出９チームでは、最下位の成績でしたが、最後にようやく肩があったまったのか、本日一番が決勝で。

第４位「富山北硬式野球クラブ」。回数は１１２回。同じく全国大会出場。
１回戦は１０５回で４位のため準決勝進出ならず、敗者復活戦へ。
敗者復活１回戦、同２回戦、決勝の３回ともに１１２回。と安定した成績を
常に出せるチームです。